

# 武将平山季重 のふるさと

新選組からさかのぼること約700年、日野から京へ上り活躍した武士がいました。その名を平山季重。義経にゆかりあるこの武将の史跡も日野に残されています。

## 宗印寺(日野七福神・布袋尊)

マップエリア

C-6



曹洞宗、由木(八王子市)金峰山永林寺末、本尊は聖観世音菩薩です。明治になると、平山季重を供養するために建てられた大平山大福寺が廃寺となり、宗印禅寺に併合されました。これによって大福寺にあった平山季重の墓(東京都旧跡)、木造地藏菩薩坐像及び千躰地藏(日奉地藏内)(共に日野市指定文化財)、大福寺本尊の千手観世音菩薩立像も宗印寺に移されました。

## 平山八幡神社

マップエリア

B-5



かつては若宮八幡または正八幡と呼ばれ、文治年間(1185~1190)平山を領した平山季重が、鎌倉の鶴岡八幡宮を勧請して郷中の鎮守としたとの言い伝えがあります。天正18年(1590)、徳川家康が関東へ入国し、巡視したとき、この八幡神社の由来を聞き、「軍配団扇」を寄進したとも伝えられています。

## 都立平山城址公園・季重神社

マップエリア

C-6

宗印寺の裏山を登ると都立平山城址公園があります。ここは多摩丘陵の斜面を活かした公園で、桜の名所にもなっています。公園入口の北側に平山季重神社の小さな祠が建っています。古くは日奉明神社と呼ばれており、現在でも日奉神社とも呼ばれています。平山季重が祖先の日奉を祀ったものとも、季重を子孫が祀ったものともいわれています。

